

記載例

作成者及び作成年月日を記載してください。
その後、一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、その履歴(年月日及び加筆又は修正者)を記載してください。

事件番号、係名及び当事者名を記載してください。

平成〇〇年(ワ)第〇〇〇号 民事第22部〇係
原告〇〇〇〇/被告〇〇〇〇
平成〇〇年〇月〇日原告作成
平成〇〇年〇月〇日被告記入
平成〇〇年〇月〇日原告修正

出来高一覧表

番号	枝番	工事名	見積書(証拠番号甲1の2)				原告主張出来高					被告主張出来高						
			単位	数量	単価	金額	数量	単価	出来高割合	証拠	金額	補足主張	数量	単価	出来高割合	証拠	金額	補足主張
1		壁面発泡断熱材吹付工事	m ²	700	¥2,000	¥1,400,000	560	¥2,000	80%	甲3・写真①ないし⑪	¥1,120,000	1階の全部及び2階のうち洋室を除く壁面は施工済みである。被告の主張する未施工箇所は、断熱材の上にパネルを施工したものに過ぎない。	350	¥2,000	50%	乙2・写真①～⑤	¥700,000	2階壁面には、発泡断熱の吹付が一切なされていない。
2		ユニットバス取付工事	式	1	¥500,000	¥500,000		¥500,000	80%	甲3・写真⑫、⑬	¥400,000	原告はユニットバスを搬入し、配管の接続以外は、取付工事を終了した。		¥500,000	0%	乙2・写真⑥	¥0	原告はユニットバスを搬入したのみであり、取付工事は一切施工していない。
		合計				¥1,900,000					¥1,520,000						¥700,000	

* 1 基礎、外壁、1階玄関、洋室1、和室1、…、2階、屋根というように、検分順序を想定し、主張する瑕疵の部位ごとの順番で記載するようお願いいたします。
* 2 証拠は、証拠番号及び具体的な頁に加え、必要に応じて該当箇所のラインマーカーによる特定をお願いします。

数量及び単価によって出来高を特定できる場合は、「数量」欄及び「単価」欄にそれらを記載し、そこから計算される出来高割合を「出来高割合」欄に記載してください。

数量及び単価によっては出来高を特定できない場合は、「数量」欄は空欄とし、主張する出来高割合を「出来高割合」欄に記載するとともに、「補足主張」欄にその計算根拠等を記載してください。